

## ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) 2022年度Formula Classスカラシップ選考会のご報告

拝啓 晩秋の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「鈴鹿サーキットレーシングスクール (SRS)」から名称を変更し、今年度より新たにスタートした「ホンダ・レーシング・スクール鈴鹿 (HRS鈴鹿)」では、2022年度「Formula Classスカラシップ選考会」の最終カリキュラムを11月29日 (火)・30日 (水) に行いました。

「アドバンスコース」より選抜した4名を対象とし、実戦デビューを照準においたプログラム「スカラシップ選考会」も今回をもって全3回・延べ6日間 (コース使用合計24時間) に及ぶ全行程を無事終了することができました。これもひとえにご協賛・ご協力いただきました各社の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、ここに開催のご報告をさせていただきます。

今後もHRS鈴鹿は世界に通用するドライバーの育成を目標に活動を続けて参ります。引き続きご理解・ご協力賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

2022年11月30日

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

### ●2022ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿)

#### Formula Classスカラシップ選考会 最終カリキュラム 開催概要

■日時: 2022年11月29日 (火)・30日 (水)

■概要: 11月29日 (火) フリー走行・計測走行/セット走行 (12周)

11月30日 (水) フリー走行・計測走行/セット走行 第1ヒート・第2ヒート (各12周)

スカラシップ獲得者発表会

■参加: Principal/佐藤琢磨氏

Vice Principal/中野信治氏

Director/佐藤浩二氏

Instructor/加藤寛規氏・野尻智紀氏・大津弘樹氏・佐藤蓮氏

Physical Coach/鎌田貴氏

Formula Classスカラシップ候補生 4名/清水啓伸、森山冬星、佐藤樹、島影柊磨



カリキュラム最終日の朝、スクール用フォーミュラカーを囲み、Principal、Vice Principalをはじめ、Instructorらとともに最後の集合写真を撮影



[50音順]

## 2年連続スーパーフォーミュラチャンピオンも同時走行した 2日間・計3ヒートのセット走行を含む最終カリキュラム

カート経験者や初めて4輪レースを体験する受講者まで幅広いドライバーを対象とした「アドバンスコース選考会STEP1」、独自のフォーミュラカーを使用し、運転適性などを審査する「同STEP2」を経て選抜した8名が2022年度の「アドバンスコース」に入校。全5回・延べ10日間（コース使用合計42時間）のカリキュラムを経てさらに選抜した2022年度受講生4名の精鋭が実戦デビューを照準においたプログラム「スカラシップ選考会」へと進出。各回2日間ずつのカリキュラムを2回行い、3回目となる今回の11月29日（火）・30日（水）の2日間が2022年度の「HRS鈴鹿 Formula Class」を修了する最後の日程となりました。

その初日29日（火）の天候は終日雨。ウェット路面にてまず20分間ずつのフリー走行を4セッションに渡って実施し、各自路面コンディションとマシンの状態を確認しました。その後、15分間による計測走行を2セッションに渡って行い、さらに12周によるセット走行を実施しました。

この日は4名の候補生に加え、長年スーパーフォーミュラとSuper GT（GT500クラス）に参戦しており、2021年度と2022年度の2年連続でスーパーフォーミュラチャンピ

オンに輝いた野尻智紀Instructor、スーパーフォーミュラとSuper GT（GT500クラス）の現役ドライバー大津弘樹Instructor、スーパーフォーミュラの現役ドライバー佐藤蓮Instructor、「Hondaフォーミュラ・ドリーム・プロジェクト（HFDP）」より今シーズンのFIA-F4に参戦した小出駿・西村和真・三井優介の3選手も同時走行。また、佐藤琢磨Principal、中野信治Vice Principal、佐藤浩二Director、加藤寛規Instructorがコースサイドやピットモニターで候補生のドライビングを確認。各Instructorには走行後にきめ細かなアドバイスをさせていただきました。

計測走行の2セッションそれぞれのベストタイムの合算によって決まったグリッドに並んで行ったセット走行では佐藤（蓮）Instructorがトップチェッカー。それに森山冬星、小出選手、西村選手、大津Instructor、佐藤樹、島影柊磨、清水啓伸、三井選手と続いてチェッカーを受けました。



現役スーパーフォーミュラ／Super GTドライバーも参加し、本番さながらの実践訓練となったセット走行



[50音順]

## 2セッションによる計測走行と2ヒート制のセット走行で3か月に及んだ「スカラシップ選考会」の成果を発揮

最終日の30日(水)はいよいよスカラシップ獲得者発表の日。身体のウォーミングアップを入念に済ませ、佐藤Principalと中野Vice Principalを中心とした集合写真撮影の後、いつものカリキュラム同様、走行前ミーティングを行いました。ここでは佐藤Principalの「今までに学んだことの全てを出し切り、悔いの残らないよう、ベストを尽くしてください」という言葉をはじめ、Director、各Instructorから激励の言葉が掛けられました。

そしていよいよ最後の走行トレーニングへ。まずは29日(火)のカリキュラムで使った車両からシャッフルしたマシンに乗り込み、30分間のフリー走行を実施。ウェットパッチが残る路面のコンディションとマシンの状態を確認しながら野尻Instructor、大津・佐藤の両Instructor、3名のFIA-F4ドライバー、そして4名の候補生が慎重に走行を開始しました。

その後、ニュータイヤに交換して15分間ずつによる2セッションの計測走行へ。計測走行の1セッション目では野尻Instructorがトップタイムをマーク。それに小出選手、三井選手、西村選手、佐藤(蓮)Instructor、清水、森山、島影、佐藤(樹)と続きました。また、2セッション目でもトップタイムをマークしたのは野尻Instructor。それに森山、佐藤(蓮)Instructor、小出選手、西村選手、三井選手、清水、佐藤(樹)、島影と続きました。

さらに12周ずつによる2ヒート制のセット走行を行いました。計測走行1セッション目と2セッション目のベストタイムの合算によって決まったグリッドに並んで行った第1ヒートでは2番グリッドからスタートした小出選手が良い

クラッチミートを披露し、野尻Instructorに並びかけましたが、グリッドのオーダー通りにオープニングラップを終了。三井選手、森山、西村選手がテールtoノーズの状態で行走を続けましたが、その後もオーダーは変わらず、野尻Instructor、小出選手、佐藤(蓮)Instructor、三井選手、森山、西村選手、清水、島影、佐藤(樹)のオーダーでチェッカーを受けました。

また、第1ヒートのチェッカー順にグリッドに並んでスタートした第2ヒートでは2番グリッドスタートの小出選手がホールショットをゲット。オープニングラップで島影が清水と西村選手をパスすると、その3台は終始テールtoノーズのバトルを展開。小出選手、野尻Instructor、佐藤(蓮)Instructor、三井選手、森山、島影、西村選手、清水、佐藤(樹)のオーダーでチェッカーを受けました。

初日のセット走行では候補生の森山が佐藤(蓮)Instructorに続く2位でチェッカー。2日目の計測走行2セッション目ではその森山が野尻Instructorの2分06秒533に迫る2分06秒720をマークしました。また、セット走行の第1ヒートでは森山が三井選手や西村選手とテールtoノーズの状態で行走。第2ヒートでは候補生の島影と清水が西村選手とテールtoノーズのバトルを展開しました。

このように候補生たちは「アドバンスコース」と「スカラシップ選考会」のカリキュラムで身に付けた技術を余すところなく発揮。今年度の卒業生たちが近い将来、上位レースにて先輩ドライバーを打ち負かす存在となることを期待させるセット走行となりました。



最終日は集中力を切らさず走り抜くトレーニングとして12週のセット走行を2セッションに渡って実施



## 4ステップに及ぶカリキュラムの集大成として モータースポーツの次代を担うスカラシップ候補生 最終選出

レベルの高い競争の中、ドライビングテクニックはもちろん、ルールやマナーの重要性、プロフェッショナルな世界を目指す厳しさをも教えるべく、4ステップのカリキュラムとして進めてきた2022年度の「HRS鈴鹿Formula Class」も今回のカリキュラムをもって全日程が無事終了。その集大成として、この日までの延べ6日間で行った「スカラシップ選考会」での成績をもとにInstructor陣による協議を行い、2022年度のスカラシップ(奨学制度)獲得者を決定。その発表を行いました。

スカラシップ獲得者発表会ではまず株式会社ホンダ・レーシング(HRC)取締役 企画管理部 部長の長井昌也様よりご挨拶をいただき、その後、佐藤琢磨Principalからコメントをいただきました。

### ●Formula Class 佐藤琢磨Principal コメント

「ここで経験できたことはかけがえのないものだと思います。学んだことを今後のレース、今後の人生にしっかり活かしていきましょう。さらに高みを目指して行って欲しいと思います。プロのレーシングドライバーとして活躍するには、時間の全てを有効に使うことが大切。全てのチャンスを掴みにいこうという姿勢こそが大切です。それは私たちが教えることではなく、皆さんが気付くべきこと。やろうと思えばできることはまだまだたくさんあると思います。自らチャンスを掴むため、さらに挑戦していきましょう」

そしてその後、佐藤Principalから優秀な成績を納めた森山冬星を2022年度のスカラシップ候補生として最終選出することが発表されました。これにより、森山はスカラシップを獲得する権利を得て、Hondaのドライバー育成プロジェクト「Hondaフォーミュラ・ドリーム・プロジェクト(HFDP)」の選出ドライバーとして2023年FIA-F4選手権に参戦する予定です。

「HRS鈴鹿」出身のドライバーとしては、2021シーズンよりFIA フォーミュラ・ワン世界選手権にフル参戦中の角田裕毅選手(2016年修了)をはじめ、岩佐歩夢選手(2019年修了)、荒尾創大選手と野村勇斗選手(2021年修了・スカラシップ獲得)らも海外レースで経験を積んでいるところです。彼らに続くドライバーが現れることが期待されています。今後も「HRS鈴鹿」の活動、そして「HRS鈴鹿」の卒業生たちの活躍にご注目願います。



カリキュラムの最後に行われたスカラシップ選考発表会では、壇上の佐藤琢磨Principalから直接発表…、緊張の時間が流れる



## ●2022年度 HRS鈴鹿Formula Classスカラシップ候補 最終選出者紹介●

◇森山 冬星(もりやま とうせい)  
19歳/大阪府

### 【主な経歴】

- 2016-2017年 SRS-Kartベーシック在籍
- 2019年 全日本カート選手権OK部門/シリーズ9位(1勝)
- 2020年 全日本カート選手権OK部門/シリーズ28位(最高位11位)
- 2021年 鈴鹿クラブマンレース スーパーFJクラス/シリーズ5位(1勝)
- 2022年 鈴鹿クラブマンレース スーパーFJクラス/シリーズチャンピオン(2勝)

### 【コメント】

『スカラシップに選ばれたことにまずはホッとしています。ここからさらに努力してステップアップし、トップアスリートに成長できるように頑張っていきたいと思います。将来は日本のトップドライバーになりたいですし、世界でも活躍できるドライバーになりたいです。小さい頃から目指してきたF1にも乗りたいです』



2022年度の「HRS鈴鹿Formula Class」スカラシップ獲得の権利を得、2023年度「Hondaフォーミュラ・ドリーム・プロジェクト(HFDP)」の育成ドライバーとしてレースに参戦することが決定した森山冬星(写真右)と佐藤琢磨Principal





最終カリキュラムの前に全体ミーティングにもいつも以上の緊張感が漂う



初日に加え、最終日には30分間のフリー走行から10分間の計測走行を2回、10周の第1・第2ヒートと周回を重ね、摩耗したタイヤの使い方や接近戦など、様々な走り方を実践的に学ぶ



[50音順]



Principalからも様々な情報を得ようと積極的な姿勢は重要



先輩ドライバーに積極的にアドバイスを求めていく候補生



[50音順]